



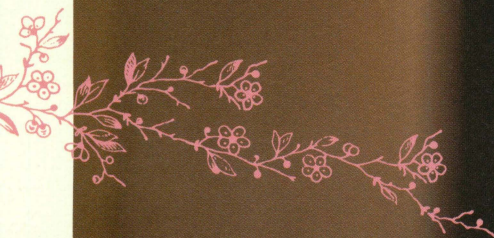
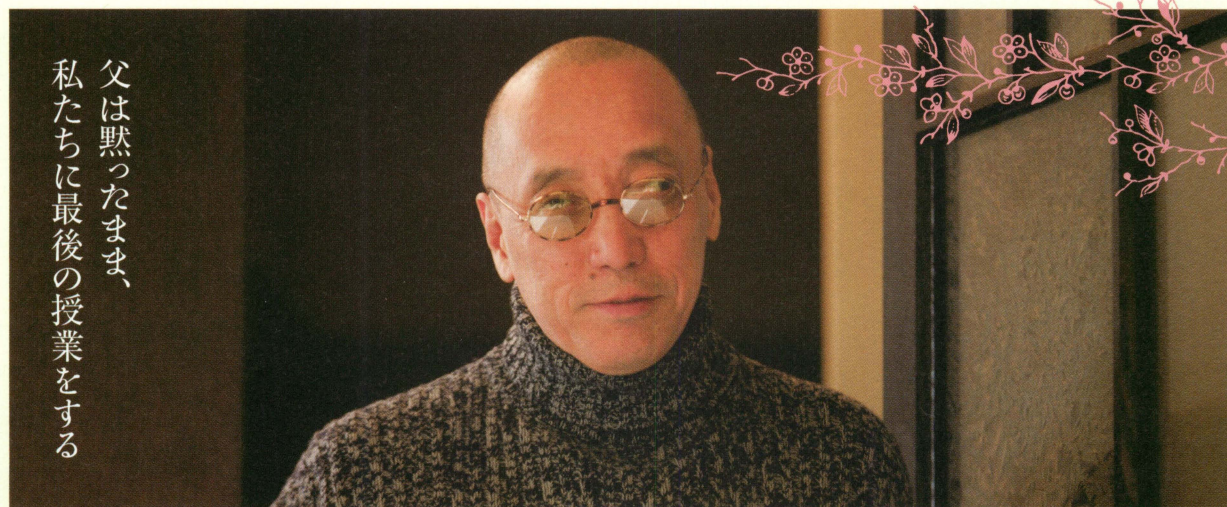
aogeba totoishi



あ お げ ば 尊 し

市川準 監督作品 原作:重松清「あおげば尊し」(新潮社刊「卒業」より)

父は黙ったまま、
私たちに最後の授業をする



テリー伊藤／薬師丸ひろ子 絵沢萌子／大倉孝二／入江雅人 麻生美代子／加藤武

製作:松田真美子 / プロデューサー:鶴島壽夫 / ラインプロデューサー:梶川信幸 / 原作:重松清(新潮社) / 音楽:岩代太郎 / 撮影:小林達也 / 照明:中根隆士 / 録音:橋本泰夫 / 美術:山口修 / 装飾:平井浩一 / 編集:三篠知生 / スタジオ:石山久美子
監督補:早川喜貴 / 制作担当:坪内一 / プロデューサー補:小沢敏二 / ©2005 / 35mm / カラー / ディスタ・サイズ / 82分 / ©2005 AZOTH株式会社 / 公式HP <http://www.aogeba.com> / 協力:全国在宅医療推進連絡協議会

市川準監督作品 原作：重松清「あおげば尊し」（新潮社刊「卒業」より）



父のあたたかい手が教えてくれたこと。

それは、私たちが子供たちに伝えなければならない、一番大切なこと。

父がもうすぐ、いなくなる。この世から、消える。家族で最期を看取るため、自宅での介護を決めた。一生教師だった父。でも、誰よりも頑固で厳しい教師だった父を見舞いに来る教え子なんて、ひとりもない。「おじいちゃんを見舞いに来る人って、なんでいないんだろう？」息子の問いに、僕は曖昧な返事をかえすだけ。日々介護をする妻は「もう、なんにも、できないの」と、溜め息を吐く。父は本当にこのまま死んでゆくのだろうか。僕ら家族にできることは、本当にもうないのか…。そして、僕が教える小学生たちは、死の意味が分からない。インターネットの死体写真。斎場への寄り道。けれど、「どうして死体を見ちゃいけないの？」という彼らの問いに、僕は何も

答えることができないでいる。

——父さん、死ぬってどういうことなんだろう？

僕にも全然分からない。だから父さん、僕らに教えてくれないか？ずっと生きてきた父さんが、今こうして命を見つめている姿を、見せてやってほしいんだ…。

誰もがいつかは直面する家族の死。そのとき、私たちに何ができるのだろうか？そして、大人になっても分からない、人が死ぬということ、私たちはどんなふうに子供たちに伝えていけばよいのだろうか？

『あおげば尊し』は、答えを探し迷い続ける、親であり子供であるすべての大人たちへ贈る、家族の物語です。

『病院で死ぬということ』『トニー滝谷』の市川準監督最新作！

主人公光一に、映画初主演のテリー伊藤を、光一の妻に薬師丸ひろ子を迎え、重松清の同名小説を原作に丁寧に描きだす、等身大の家族の肖像。

かつて映画『病院で死ぬということ』で、終末医療のあり方やその家族の姿を静謐に描いた市川準監督が、再び現代の“死”と“家族”を見つめた最新作。原作は、さまざまな世代の迷いや葛藤をリアルに描くことで多くの読者を得ている、直木賞作家重松清の同名小説です。

主演は、TVでの辛口なコメントや斬新な企画で誰もが知っている、テリー伊藤。映画初主演にして、悩みながらも手探りで答えを探す主人公光一を、TVとは全く異なる印象で見事に演じています。そして、光一の妻・麻理に、薬師丸ひろ子。

家族の中で、誰よりもまっすぐに義父の死を見つめている妻の姿は、物語を支える重要な存在となっています。さらに、一言も発しないままに強い存在感を放つ光一の父に、名優加藤武。献身的に介護を続ける母に、アニメ“サザエさん”でオフネさんの声を担う麻生美代子。など、実力のある俳優たちが紡ぎだす家族の肖像。その姿は、この物語が私たち自身の家族の物語であることを、そっと伝えてきます。父が私たちに残した最後のこと。それは、私たちが子供たちに伝えなければならない、一番大切なこと…。

監督・脚本：市川準 原作：重松清（新潮社刊） 製作：松田真美子 プロデューサー：鍋島壽夫 ラインプロデューサー：関川信幸 音楽：岩代太郎 撮影：小林達比古 照明：中須岳士 録音：橋本泰夫 美術：山口修 装飾：平井浩一 編集：三條知生 スタリブター：石山久美子 監督補：早川喜貴 制作担当：坪内一 プロデューサー補：小沢祐二 在宅医療監修：全国在宅医療推進連絡協議会 製作：AZOTH株式会社 2005 / 35mm / カラー / ヴィスタ・サイズ / 82分 ©2005 AZOTH株式会社 公式HP <http://www.aogeba.com>

お正月第2弾 家族へ贈るロードショー！

特別鑑賞券¥1,500（税込）／ペア券¥2,800（税込）絶賛発売中！

劇場窓口にてお求めの方に限り、「涙をぬぐうハンカチ」プレゼント！

当日（税込）：一般¥1,800、大高¥1,500、中学生以下・シニア¥1,000

銀座4丁目交差点 和光ウラ通り

シネスイッチ銀座

03-3561-0707
www.cineswitch.com

新宿駅東南口2分 甲州街道沿道ドコモショップ左

新宿K's cinema

03-3352-2471
www.ks-cinema.com/